

出席

父母(順不動)

八木崎、上沖、緑、宮川、幸松、備後、立野、武里、豊野、粕壁(計21名)

事務局: 金田、土井、石井、山岸、栗原、高木

<特別講演> 山本博美先生

(事務局より、山本先生紹介)

草加市で指導員勤務33年

本年度から八潮市勤務

元全国学童保育連絡協議会 会長

(山本先生 講演概要)

1979年から指導員。春日部も父母会運営時代に沿線会議などで何度もお邪魔した。素晴らしい指導員がいらして、組織を作り、お互いに学びながら、頑張っていた。

◇学童保育を取り巻く状況

全国連協が昨年行った学童保育の実態調査(5年に1回)。

→学童保育数は10年で1.5倍。2万800か所。

児童数は1.6倍。84万人。

しかし、保育料や保育時間の制限などにより、「諦めている」人も多数。

潜在的な待機児童は50万人とも言われている。

7割の学童で発達障害児も受け入れている(1か所平均2.38人)が、指導員加配は障害児何人でも同じ扱い。

指導員は9万人以上いるが、7割は年収150万円以下。

児童福祉法が改正され、国が基準を定める事になる。それによって市町村が条例を定める。

そこにどれだけ要求を盛り込めるかが大事(各市の運動が施策を大きく左右する)。

場所によっては、子どもを預かっているだけでビデオを見せているだけのところ、外遊びはしないところ、指導員がやり易い様にやっているところもある(基準がないから)。

◇最近の子どもたちの様子

20年くらい前から、子どもたちが変わってきた(?)

食べたい、遊びたい、体を動かしたい→最近「遊ぶのも疲れる」

疲労症状・・・慢性的睡眠不足

体幹を鍛える運動、遊びが無い。

攻撃的な子が増えた・・・コミュニケーションが不足(ゆっくり話を聞いてもらう機会が無い?)

15年前の実例・・・結果、評価に敏感。失敗を怖がる子→ババ抜きしかない。

実力で勝負が決まるトランプはしたくない。運のみの勝負はする。

◇子ども同士が繋がって何かが変わる瞬間

1年生をかばって傘を取りに戻り、転んでしまった上級生の男の子・・・「ホントは優しいんだ」

トランプで勝負をしなかった子→学年が上がり、「左手で」下級生とスピードをする様に。

◇大切な親との関わり

子育ては大変・・・時に子どもがウザい。

泣き出す母親の話・・・子どもは母を良く見ている。気にしている。大好き。

◇保護者の組織はなぜ必要か

働きながらの子育ては大変だけど・・・一人で背負い込んで良いことは一つもない。
たまたま出会った親同士だが、「甘える」「頼る」「吐き出す」事を自分から。
渦中の親は必至。でも通り過ぎた親は「あつという間」。

「大変だったけど、大変さも懐かしい」という先輩の親たち。
学童保育はずっと続いている。昔の親たちの頑張りが今の学童保育を作った。
ぜひ親同志で頼ったり頼られたりしながら学童世代を過ごして欲しい。

山本先生の講演全文を、各クラブに1部ずつ配布しました。総会に参加されなかった方も、ぜひお読みください。「笑って」「泣けて」「考えさせられる」お話です。

<総会議事> (配布資料参照)

1. 議長選出
2. 2012年度 活動報告 (事務局長)

なぜ父母会の活動が必要なのか? 学童保育の実態、春日部の現状を踏まえて事務局より説明した資料を全クラブに配布しましたので、ぜひご覧ください。

3. 2012年度 会計報告 (事務局長)、監査報告 (豊野クラブ小金井さん)
活動報告、会計報告について、質問無し。承認 (拍手にて)
 4. 2013年度 活動計画 (事務局長)
 5. 2013年度 予算 (事務局長)
活動計画、予算について、質問無し。承認 (拍手にて)
 6. 役員選出 代表 上沖、副代表 宮川、事務局長 土井
- ※事務局員紹介・・・人手が足りないので随時事務局員募集中。

<その他>

※出席クラブより、自己紹介と感想など。

- (立野) 例年男性が会長。久々に女性会長になったが、頑張ります。
- (幸松) 2クラブになって設備も充実。指導員はとても良くやってくれている。
都内の学童が衰退している話を聞き、地域にも波及しないか心配。
- (上沖) 連絡係として2年目参加。
- (粕壁) 児童92名。会長2年目。会議に参加してアドバイスも得て、他にも役員をやってもらえる人を確保できた。
- (備後) 会長。児童32名。新しいプレハブでのびのびしている。
- (八木崎) 指導員が一生懸命やってくれている。指定先の更新もあり、もっと父母が考える必要を感じた。
- (豊野) 父母会の前に指導員と役員がミーティングをするようになった。
子供たちが楽しめる事をもっと考えていきたい。
- (武里) 昨年副会長を経て、今年会長。1年生が増えて賑やかになった。
- (宮川) 会長。児童54名。空き教室で狭すぎる。子どももストレス。少しでも良くなるようにしたい。
- (緑) 副会長で初めて参加。
- (南桜井) (指導員) 事務局が骨を折って下準備をしてくれている。
山本先生の講演も、ぜひ指導員に聞かせたいと思ったが残念。
- (山本先生) 「日本の学童保育」(通称「保育誌」)の購読が減っている。学童保育のバイブルの様な雑誌。指導員にも親にも大切な情報と役に立つ事例がたくさん書かれているので、ぜひ購読を広めて欲しい。父母会での読み合わせも有益。呼ばれば出張します。

以上